

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	県展飯田展参画事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	教育委員会	課等名	生涯学習・スポーツ課		包含する細々目	1	10	5	1	12	2	123
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり											
施策	27 文化芸術の振興											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	事業期間		年度～	年度	関連計画 条例等		

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	市民	飯田市の人口(人) (H18.10.1推計人口)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			107844	107000		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	芸術に親しむ場を支援する	場の回数:回	18目標	最終目標		
			18実績	1	19目標	2
		23目標	2	23実績		最終目標達成年度
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		↑ 最終目標達成年度
		23目標		23実績		最終目標達成年度

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	<p>県展飯田展への負担金の支出 長野県美術展は長野県、長野県教育委員会、信州美術会の3者が主催し、東北信、中信、南信の3ブロックの3～4会場を巡回して展覧会を実施している。 南信では飯田市と伊那市が隔年でブロック展会場となり、飯田市で展覧会が開催される場合は、南信美術会が中心になって県展飯田地区運営委員会を組織し、運営に当たっている。(18年度伊那市、19年度飯田市) 概ね6年に1回、県展のトップ会場となり、応募作品の受入れ・審査・開会行事等を行っている。(平成17年度飯田市開催、次回平成23年開催予定) 書道展は飯田創造館にて毎年開催している。</p>	<p>県書道展飯田地区展</p> <p>18年度の実績</p> <p>県展飯田展 県書道展飯田地区展</p> <p>19年度計画</p>	開催回数 :回	1回
			開催回数 :回	2回

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	0	
	一般財源	35	123
事業費計(A)	35	123	
人件費	正規職員所要時間	18年度 1	19年度 3
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	4	11
	トータルコストA+B	39	134

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	いつでもどこでも誰でも気軽に親しむ。自己表現の機会が得られる。文化活動を主体的に担う。	文化芸術活動に無縁な生活を送っている人の割合(減らす)	現状値	64.8	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	50
	文化創造活動に自ら主体的に関わっている市民の数	現状値	7052	19実績		
		20実績		21実績		
22実績			23目標	8500		

この事業を開始したきっかけ 絵画・彫刻や書などの芸術の振興として実施。	事業を取り巻く状況の変化 文化芸術活動が多様化している。	事業に対する市民や議会の意見 関係団体(南信美術会等)の振興に向けた期待は大きい。また、議会においても写真(藤本四八賞)と並ぶ絵画関係賞の設立に向けた質問がされている。
--	---------------------------------	---

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 裾野の拡大につながる。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がある (その理由) 行政の支援策を再検討する。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 県展関係の補助のみ、金額も見直しを図ってきた。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 意図の達成ができない。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 芸術に親しむ場の支援である。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 統合不可能 (類似事業名、理由) 類似事業なし。
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 芸術文化は市民が主体的に担うものである。その支援についての行政の役割は、飯田市文化芸術振興基本方針(案)に位置づけたことである。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 統合不可能 (類似事業名、理由) 類似事業なし。
		効率性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 不可能 (その理由) 現在が最も適切な水準である。
		公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 受益者は市民である。行政としては、場の確保について後援共催制度を適用して適切に支援している。

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 多様な担い手が生れており、支援策をどのようにするのか、教育委員会の後援共催制度の見直しを行っている(検討中)
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	